

Amity NurSing

アミティーナーシング

Vol.119

公益社団法人
北海道看護協会 道南南支部だより

発行／公益社団法人
北海道看護協会道南南支部

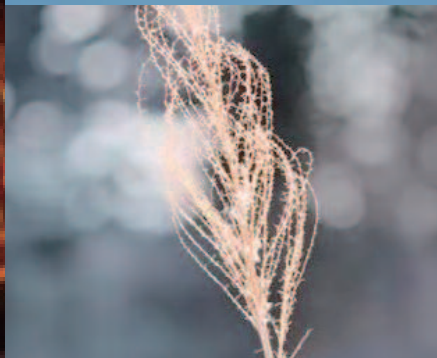
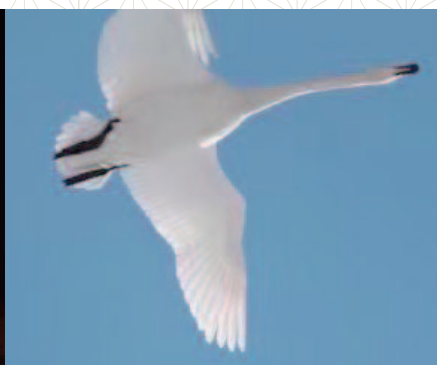
編集責任者／北村和宏

印刷／(株)島本印刷

2025年1月発行

CONTENTS

- 道南南支部支部長あいさつ
- 看護研究学会プログラム
- 研修会報告
- 看護の日お知らせ
- 「最後まで生きる」を支えるお仕事
- 推薦委員会からのお知らせ
- 編集後記



2月15日

支部大会に向けて

道南南支部支部長

北
村
和
宏

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は支部活動に、ご支援ご協力いただき心よりお礼を申し上げます。

本年が皆様にとって良い一年となりますよう、ご祈念を申し上げます。

さて、昨年令和6年能登半島地震は私たちに自然災害の恐ろしさと、日々の備えの重要性を改めて認識させる出来事でした。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、昨年は異常気象が続発した年となりました。猛暑や記録的な豪雨、台風の頻発など、私たちの日常に大きな影響を与える気象現象が相次ぎました。これらの極端な気象は、気候変動の進行を実感させるものであり、自然の力の強さと、私たちの生活がいかにそれに影響されているか改めて認識させられました。

支部活動に関しましては、今年度企画された事業のすべてを会場への集合といった形で開催いたしました。こうして、受講者同士が顔を合わせコミュニケーションを図ることで、繋がりができ新たな交流が生まれることや不明な点や疑問を、その場で解決できるという集合研修ならではのメリットを活かせるようになりました。引き続き、次年度も集合での研修を続けていきたいと考えておりますので、皆様の参加をお待ちしております。

2024年度、北海道看護協会方針・重点事業は高齢化の進行に伴い、生産年齢人口の減少が加速し、看護を取り巻く状況が大きく変化を続けるなか、先進医療への対応、在宅医療・ケアの推進、新興感染症等の発生への備え等、看護ニーズの増大が見込まれています。

2040年を見据え看護職の役割発揮に対する社会からの期待に応えるため、「医療」と「生活の質」の両方の視点を併せ持つ看護職の育成及び確保推進等に取り組みが必要であり、以下の方針が打ち出されております。

方針1 看護師の質向上と役割拡大の推進

方針2 全世代型地域包括ケアシステムの推進

方針3 看護職の確保と定着の推進

方針4 新興感染症や災害等への対応に係る看護職の確保

これらの方針に沿って、本部と協議・連携しながら支部役員・委員が一体となり支部事業計画を進めてまいりました。今後とも、御支援・御協力をお願いいたします。

来る、2月15日(土) プレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館において、支部大会および看護研究学会を開催いたします。支部大会は、会員の皆様の声を支部活動に反映できる大切な場と考えております。また、看護研究学会は看護の質向上のために知識や技術を収集する場となります。なお、今年度は昨年に引き続き会場への参集形式での開催といたします。しかし、選挙につきましては昨年同様に定足数を確保できなくなることを避けるため、あらかじめ書面による議決権行使書および郵送による投票を採用いたしました。なお、開票は支部大会当日に選挙管理委員立会いの下で行います。多くの皆様にご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

重点事業に関しては

QRコード→MENU→協会概要よりご覧ください



2024年度

公益社団法人 北海道看護協会道南南支部大会 看護研究学会開催のご案内

日時 2025年2月15日(土) 道南南支部大会 12:30開会
看護研究学会 13:30開会

場所 プレミアホテル CABIN PRESIDENT 函館「カメラア」
函館市若松町14番10号

・支部大会ならびに看護研究学会の開催につきましては、後日、あらためてご案内を発送いたします。皆様の会場への参加をお待ちしております。

道南南支部 看護研究学会プログラム

2月15日(土) 13:30～15:30

第 1 群 座 長 社会医療法人 仁生会 西堀病院 住 吉 ゆかり

第 1 席 社会的苦痛を抱えた患者への看護を振り返る
マズロー欲求階層説を用いた考察

医療法人敬仁会 函館おしま病院 ホスピス病棟 小 野 綾

第 2 席 病棟看護師におけるプライマリーナーシングの実態調査

医療法人徳洲会 共愛会病院 3階東病棟 木 村 由貴子

第 3 席 B病棟における病院移転に対する動向の変化

～病院移転への不安と期待の現状調査～

社会医療法人 高橋病院 3階南病棟 佐 藤 優 輝

第 4 席 ECUにおける看護学生を対象にしたリモート実習導入による効果と課題

～看護学生の新たな学習の方法～

市立函館病院 ECU 山 下 亮 太

第 5 席 退院支援チェックリスト導入後の病棟看護師の退院支援実践力の変化

～病棟看護師の退院支援実践自己評価尺度 (DPWM) を用いて～

社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 南3病棟 櫛 引 理 江

第 2 群 座 長 医療法人 道南勤労者医療協会 函館稜北病院 宝 福 優 子

第 1 席 精神科急性期病棟における作業療法参加への看護師の関わり

～参加率向上に向けての取り組み～

社会医療法人文珠会 亀田北病院 3-1病棟 柳 沢 利 伸

第 2 席 血液浄化用留置カテーテルに対するヘパリンロック頻度の検討

医療法人徳洲会 共愛会病院 透析センター 塩 越 知

第 3 席 鎮静下内視鏡検査における覚醒基準スコア導入の試み

～リカバリー室からの安全な退室を目指して～

市立函館病院 内視鏡室 佐 藤 浩 美

第 4 席 小児病棟における入院中の食事環境に関する実態調査

～入院中の家族と他施設の看護師に対するアンケート調査より～

社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 東3病棟 松 浦 香 織

第 5 席 個々に合わせた創傷管理の必要性

～創傷処置を受けた3症例の分析から見たもの～

医療法人社団函館脳神経外科 函館脳神経外科病院 外来 前 田 尚 枝

Workshop Report



教育委員会からの研修報告<看看連携>

委員長 安藤 香織

2024年8月17日（土）に支部企画研修「地域包括ケアのための看看連携研修会」を開催致しました。講師には、函館中央病院・総合医療支援センター・入退院支援室の奥山ちどり先生、訪問看護ステーションフレンズの保坂明美先生にお願いしました。研修会は午前に講義、午後からグループワークを実施。講義の中では奥山先生から入退院支援の実際と函館中央病院の現状についてお話しいただきました。保坂先生には在宅での生活を支援する側からのお話をさせていただきました。道南地区では、はこだて入退院支援連携ガイドおよびサマリーがあり、まず個人ワークで直接ツールに事例の内容を書き入れ対象理解をし、さらにグループワークでサービス内容についてディスカッションをしました。参加者からは「講義・グループワークを通じて連携の必要性を感じることができた」といった声が寄せられ充実した研修となったようです。

教育委員会からの研修報告<ACP>

委員長 安藤 香織

2024年10月19日（土）に支部主催研修「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）研修会」を開催致しました。講師は、市立函館病院・緩和ケア科長山崎裕先生にお願いしました。研修会は山崎先生の講義の後、その日はじめて会ったメンバーで構成されたグループで事例の患者に対する意思決定支援についてディスカッションをしました。話し合った内容を模造紙に書き、発表するスタイルを2回実施し、揺れ動く人生最後の人の感情とその家族に向けて自分達は何を考えたか、何ができるかを真剣に考える研修でした。会の最後に『もしもノートはこだて』の紹介を先生にいただき、よりACPを身近に考える機会をいただきました。参加者から「講義がわかりやすく、グループワークでの話し合いでより理解が深まった」という感想が聞かれました。

働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長 井口 尋美

2024年10月26日（土）「リフレッシュ研修」をサン・リフレ函館で開催いたしました。看護職種だけでなく介護福祉士も参加していただき、personal beauty salon rejoice 梅原麗奈様を講師にお迎えして、メイクを通じて、働き続けられるためのリフレッシュ方法を学ぶことができました。現場を離れ、各々の悩みや、メイクの仕方等実技を取り入れながらの研修で有意義なリフレッシュ研修を開催することが出来ました。受講者からは、「仕事のことでなく日常生活で活かせる気分転換方法を学ぶことが出来た」「マスクを外すのが嫌だったが、化粧を頑張るってマスクを外してみたいと思った」等多数のご意見いただきました。今後とも働き続けられるための研修を行っていきたく思いますのでよろしくお願いいたします。



保健師職能集会を終えて

委員長 笠島 総子

2024年8月31日（土）講師にNPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長田中敦先生をお招きし、「ひきこもり状態にある方への支援の実際」についてご講演いただきました。

当日は、行政や地域包括支援センター、医療機関、教育機関等で働く保健師や看護師、福祉職の方々の参加があり、実際に担当しているケース等を思い浮かべながら、当事者の気持ち、支援者の基本姿勢、メタバース（仮想空間）による居場所など多くを学ぶことができました。参加者からは、「当事者の状況がよくわかった」「聞く力と待つ力が大事」「地域の支援体制づくりに取り組みたい」等の意見があり、日頃の活動へのヒントが得られたようでした。

来年度からは、助産師職能集会と合同開催となります。より一層、看護職の連携を深めていく機会になると思いますので、ご期待ください。



助産師職能委員会より

委員長 藍谷 吏紗

2024年度助産師職能集会を7月20日（土）に開催しました。「リプロダクティブヘルスを学ぼう・思春期の性と健康に対する伝え方を考える」をテーマとした研修会には施設助産師のみならず、保健師や教育関係者22名が参加し、今研修を興味・関心をもって参加して頂きました。

函館・性と薬物を考える会の大釜康恵助産師より思春期の性と健康を考える～性と薬物を考える会発足から～と題して講演して頂き、子どもたちを取り巻く各専門分野のネットワーク構築・情報交換・連携がとても重要だと改めて学ぶことができました。受講者からは「発達段階に合わせた性教育を行っていくことが大切だと理解できた」「講義では性教育の大切さを改めて感じました。グループワークでは様々な施設の助産師や保健師と情報共有を行うことができ大変勉強になりました」等挙げられ、学びの深い研修となりました。



看護師職能委員会より

委員長 志村 直子

2024年9月7日（土）に看護師職能集会Ⅰ「脳卒中看護の理解と実践」、11月16日（土）に看護師職能集会Ⅱ「脳卒中患者への食事支援」を開催いたしました。講師に脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の藤本奈美先生をお招きし、脳卒中看護のアセスメントと実践についてご講演いただきました。

ご講演後は演習を行い、藤本先生から直接ご指導もいただきました。受講生の方々からは「曖昧だったことが明確になった」「役立つ内容がたくさんあった」「今後のケアに活かしていきたい」との声があり、明日からの看護に活かせる内容となりました。

看護師職能委員会では、会員の皆様の日々の看護につながる活動を行っていきたくて考えております。今後とも宜しくお願いたします。



看護の日 NURSING DAY に向けて



第一副支部長 岩本 厚子

5月12日は看護の日です。

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、旧厚生省により、1990年に制定されました。もともとは、国際看護師協会（ICN）が、この日を「国際看護師の日」としたことが由来となっています。毎年5月12日を含む日曜日から土曜日までの1週間を「看護週間」とし、全国各地で看護にまつわるイベントを開催しています。

道南南支部では例年、看護の日記念講演会を開催しており、2024年度は講師におなかデトックス専門家の中谷彩暉先生をお招きし、病原菌やウイルスに負けない体を作ると言われる腸活について実演を交えながらご講演いただきました。

2025年度はこれまでの講演スタイルから実演スタイルに変え、「看護」をより身近に感じてもらえるイベントを企画中です。はじめての試みではありますが、保健師、助産師、看護師による健康相談、看護師の仕事紹介、妊婦体験など、地域の皆様に看護の仕事を知っていただく内容を検討しておりますので、イベントには多くの方の参加をお待ちしています。



看護の日 お知らせ

- 日時／2025年5月17日(土)
13:30～15:30
- 会場／蔦屋書店2階
- 内容／保健師、助産師、看護師による相談ブースや看護師の仕事紹介

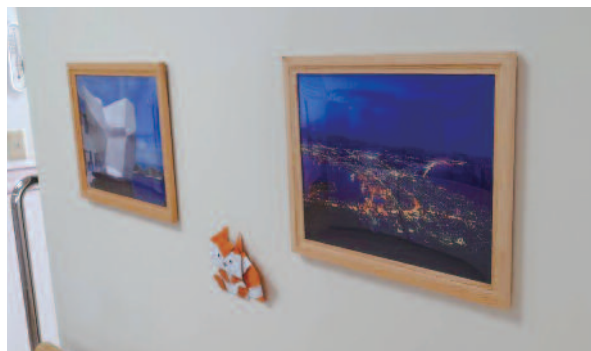
この他、楽しい企画を検討しております。

「最期まで生きる」を支えるお仕事

医療法人聖仁会 森病院 緩和ケア認定看護師 木村 佳史

「緩和ケア」と聞いてどのような印象をお持ちでしょうか？「がん」は助からない、治療を終えていよいよ余生を過ごす場所に…と、思って緩和ケア病棟に来たという患者さん、家族は少なくありません。実際「緩和ケア」とは、患者さんとその家族のQOLを向上させるためのアプローチとされています。身体的、精神的、社会的、そして霊的（スピリチュアル）な問題へ、私たち看護師は患者さんとその家族と共に向き合い、支えることでただ「生きる」のではなく、最期まで「生きる」ことができるように考えています。決して何もしない、最期を待つ場所が「緩和ケア」というわけではありません。

日常的には、バイタルサインや表情、言動の観察など、フィジカルアセスメントを基盤にして看ています。精神的、社会的、霊的（スピリチュアル）な問題は、内に秘めているということが大半です。そのため私たちは「聞く、聴く、訊く」と時々「待つ」を場面ごとに使い分け、コミュニケーションを大切に関わっています。またそこで見出した小さな希望を信じて、医師や薬剤師、MSW、栄養士といった多職種と協働しチームとして支えることや、そこでの調整する役割は看護師が担っています。そして、Cure（：治す）よりもCare（：看護）が主役になれるのも「緩和ケア」だと感じています。患者さんとその家族の一番近くで寄り添い、手で触れて、目で見ると看護の本質が「緩和ケア」にはあり、看護を直に感じられる魅力的な場所だと思っています。



病棟にいながら四季を感じてもらったり、馴染みの風景から昔を思い出しコミュニケーションに繋がるようにこのような活動も行っています！



推薦委員会からのお知らせ

公益社団法人北海道看護協会道南南支部 2025年度選挙名簿

改選役員・推薦委員候補者

役員・委員名	氏名	勤務先	職種
支部長	寺田 恵子	市立函館病院	看護師
第二副支部長	小宮 裕子	日本赤十字社 函館赤十字病院	看護師
書記	奴賀 陽子	社会医療法人函館博栄会 函館渡辺病院	看護師
会計	柴田 香奈美	公益社団法人函館市医師会 函館市医師会病院	看護師
推薦委員	向出 昌代	日本赤十字社 函館赤十字病院	看護師
推薦委員	吉田 綾子	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	看護師
推薦委員	堀内 優子	医療法人徳洲会 共愛会病院	看護師
推薦委員	堀井 知美	医療法人社団函館脳神経外科 函館脳神経外科病院	看護師
推薦委員	小笠原 香	社会福祉法人北海道社会事業協会 函館病院	看護師
推薦委員	藤村 栄子	社会医療法人文珠会 亀田病院	看護師

会員募集

北海道看護協会道南南支部では、看護専門職能としての資質向上・専門職団体として、地域住民への貢献・看護職一人一人の健康で働ける労働環境の改善など、職能団体として会員相互の連携を深めながら組織活動を行っております。一人でも多くの方々との連携を広げたいと思いますので、ぜひ未入会の方へお声掛けをお願いします。入会につきましては、道南南支部へお問い合わせ下さい。会への加入をお待ちしております。

個人会員の皆様へお願い

道南南支部からのご案内を送付しておりますが、宛先不明での返却が相次いでおります。お手数をお掛けしますが転居・転職の際には北海道看護協会へご一報いただけますと幸いです。

道南南支部 会員数

(2024年11月末)



保健師……………39名	看護師……………2,779名
助産師……………60名	准看護師……………224名

編集後記

厳寒の候、COVID-19やインフルエンザ等、様々な感染症の流行がまだまだ続く中、会員の皆様におかれましては多忙な日々をお過ごしのことと存じます。

今年度同様、次年度も感染状況に気を付け、看護の日のイベントや研修会を開催できるように準備を進めていきたいと思っております。

広報出版委員会は、今後も研修の開催や新しい情報等を皆様へ提供していきたいと思っております。ご意見、ご要望などがございましたら、広報出版委員までお気軽にお寄せください。



●広報出版委員会

晴山 亜希子 伊藤 翔子 野田 真理
五島 真理子 砂子 睦 木村 佳史

公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部

支部長 北村 和宏

連絡先 社会医療法人 高橋病院

〒040-0012 北海道函館市時任町1番2号 電話 0138-78-1230